

## ②建設機械の稼働状況

### a) 【除却】

大気質調査期間中（平成 29 年 11 月 15 日（水）から 11 月 21 日（火））の建設機械の稼働状況は、表 1-12(1)に、建設機械の稼働台数は、表 1-12(2)に、建設機械の位置図は、図 1-13(1)に示すとおりである。

【除却】では、躯体解体工事が東西 2 工区に分かれて行われていた。

近接する【後期第 1 期（前期）①②】では、ホイールクレーン等による資材の搬入（躯体工、仕上工）のほか、コンクリート打設工（C 工区、11/15）が行われていた。また、【後期第 1 期（後期）】では、ホイールクレーンを用い基礎部の配筋などの資材の搬入（躯体工）のほか、掘削残土の搬出作業、基礎部の均し作業等が行われていた。

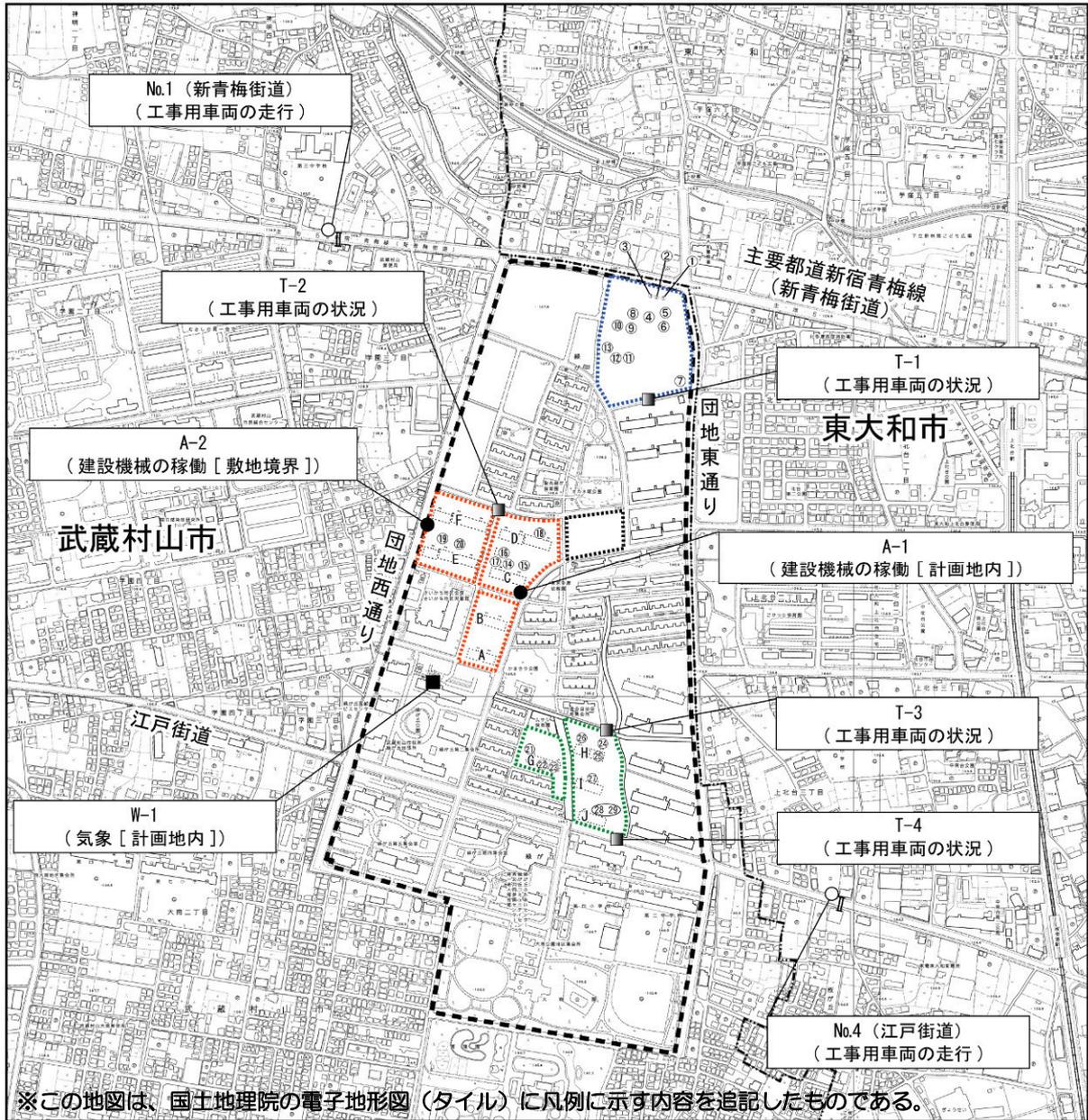
建設機械の稼働台数をみると、【除却】の建設機械の稼働台数は、予測条件と概ね一致しており、休工日（11/19(日)）を除き、調査期間中は終日作業が行われていた。一方で近接の【後期第 1 期（前期）①②】及び【後期第 1 期（後期）】の建設機械の稼働台数は、工程調整による平準化により、予測条件より少なかった。

表 1-12(1) 主な建設機械の稼働状況 (H29 年 11 月\_第 3 四半期)

対象工期	工区	番号	名称	規格	登録メーカー名	型式	排ガス基準	15日 (水)	16日 (木)	17日 (金)	18日 (土)	19日 (日)	20日 (月)	21日 (火)
除却	除却 東側	①	バックホウ(油圧破砕機)	0.8m <sup>3</sup>	コベルコ建機㈱	SK210D-9	2011年基準適合	○	○	○	○			
		②	バックホウ(油圧破砕機)	0.8m <sup>3</sup>	コベルコ建機㈱	SK210D-9	2011年基準適合	○	○	○	○			
		③	バックホウ(油圧破砕機)	0.8m <sup>3</sup>	日立建機㈱	ZX225USRK-3	排出ガス基準適合	○	○	○	○			○
		④	バックホウ(油圧破砕機)	0.06m <sup>3</sup>	キャビタラージャパン㈱	20SR	第一次基準値	○	○	○	○			○
		⑤	バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	コベルコ建機㈱	SK135SRD	2006年基準適合	○	○	○	○			○
		⑥	バックホウ(油圧破砕機)	0.8m <sup>3</sup>	日立建機㈱	ZX225USRK-3	2006年基準適合	○	○	○	○			○
	除却 西側	⑦	バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	日立建機㈱	ZX135US-3	2011年基準	○	○	○	○			○
		⑧	バックホウ(油圧破砕機)	1.5m <sup>3</sup>	キャビタラージャパン㈱	336EL	2011年基準	○	○	○	○			○
		⑨	バックホウ(油圧破砕機)	0.38m <sup>3</sup>	新キャタビラー三菱㈱	312D	2006年基準適合	○	○	○	○			○
		⑩	バックホウ(油圧破砕機)	0.9m <sup>3</sup>	髙加藤製作所	HD820VLC	2006年基準適合	○	○	○	○			○
		⑪	バックホウ(油圧破砕機)	0.8m <sup>3</sup>	髙加藤製作所	HD820III	第二次基準値	○	○	○	○			○
		⑫	バックホウ(油圧破砕機)	0.5m <sup>3</sup>	キャビタラージャパン㈱	312C-3-SSS	第二次基準値	○	○	○	○			○
		⑬	バックホウ(油圧破砕機)	0.9m <sup>3</sup>	キャビタラージャパン㈱	320E RR-2	2011年基準	○	○	○	○			○
後期第1期 (前期)①②	C	⑭	コンクリートポンプ車	124m <sup>3</sup> /h	極東開発工業㈱	PY120-33	-	○						
		⑮	ホイールクレーン	35t	髙加藤製作所	KRM-35H	第二次基準値		○	○				○
		⑯	コンクリートミキサー車	10~11t	K Y B ㈱ほか	-	-	○						
		⑰	コンクリートミキサー車	10~11t	K Y B ㈱ほか	-	-	○						
	D	⑱	タワークレーン	2t	管機械工業㈱	GTMR331B	-	○	○	○	○			○
	E	⑲	ホイールクレーン	25t	髙加藤製作所	KR-25H-V8	2011年基準	○						
		⑳	トラッククレーン	100t	髙タダノ	ATF-100G4-1	-	○	○	○	○			○
後期第1期 (後期)	G	㉑	ホイールクレーン		髙加藤製作所	KR-25H-V8	2011年基準			○				
		㉒	バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	キャビタラージャパン㈱	311F L RR	2014年度							○
		㉓	バックホウ	0.8m <sup>3</sup>	コベルコ建機㈱	SK200-6E	2006年基準適合							○
	H	㉔	バックホウ	0.8m <sup>3</sup>	日立建機㈱	ZX200-E	第二次基準値	○						
		㉕	バックホウ	0.09m <sup>3</sup>	髙クボタ	RX-306	2006年基準適合	○						
	I	㉖	ホイールクレーン	25t	髙タダノ	GR-250N-1	第二次基準値		○		○			○
	J	㉗	ホイールクレーン	25t	髙加藤製作所	KR-25H-V7	2006年基準適合	○						
		㉘	ホイールクレーン	25t	髙タダノ	GR-250N-1	第二次基準値			○	○			

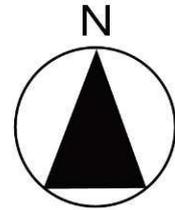
表 1-12 (2) 建設機械の稼働台数の比較【除却】

対象工期	予測条件			事後調査		
	工種	建設機械	台数	工種	建設機械	台数
除却	除却工事	油圧破砕機 バックホウ	8 8	躯体解体	油圧破砕機 バックホウ	11 2
後期第1期(前期)①②	躯体工事+仕上工事	クローラクレーン コンクリートポンプ車	8 8	躯体工事+仕上工事	ホイールクレーン トラッククレーン タワークレーン コンクリートポンプ車 コンクリートミキサー車	2 1 1 1 2
後期第1期(後期)	躯体工事+仕上工事	クローラクレーン コンクリートポンプ車	3 6	躯体工事	バックホウ ホイールクレーン	4 5



### 凡例

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ----- : 市境        | ■ : 工事車両出入り交通量       |
| ----- : 計画地       | ≡ : 工事車両交通量          |
| ■ : 風向風速調査地点      | ● : 大気質(建設機械稼働)調査地点  |
|                   | ○ : 大気質(工事用車両走行)調査地点 |
| ..... : 除却        | ..... : 後期第1期(前期)①②  |
| ..... : 後期第1期(後期) | ..... : 工事区域         |
- |                                      |                                      |                                |
|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------|
| ① : バックホウ(油圧破砕機:0.8m <sup>3</sup> )  | ⑪ : バックホウ(油圧破砕機:0.8m <sup>3</sup> )  | ⑳ : ホールクレーン(25t)               |
| ② : バックホウ(油圧破砕機:0.8m <sup>3</sup> )  | ⑫ : バックホウ(油圧破砕機:0.5m <sup>3</sup> )  | ㉑ : バックホウ(0.5m <sup>3</sup> )  |
| ③ : バックホウ(油圧破砕機:0.8m <sup>3</sup> )  | ⑬ : バックホウ(油圧破砕機:0.9m <sup>3</sup> )  | ㉒ : バックホウ(0.8m <sup>3</sup> )  |
| ④ : バックホウ(油圧破砕機:0.06m <sup>3</sup> ) | ⑭ : コンクリートポンプ車(124m <sup>3</sup> /h) | ㉓ : バックホウ(0.8m <sup>3</sup> )  |
| ⑤ : バックホウ(0.5m <sup>3</sup> )        | ⑮ : ホールクレーン(35t)                     | ㉔ : バックホウ(0.09m <sup>3</sup> ) |
| ⑥ : バックホウ(油圧破砕機:0.8m <sup>3</sup> )  | ⑯ : コンクリートミキサー車(10~11t)              | ㉕ : ホールクレーン(25t)               |
| ⑦ : バックホウ(0.5m <sup>3</sup> )        | ⑰ : コンクリートミキサー車(10~11t)              | ㉖ : ホールクレーン(25t)               |
| ⑧ : バックホウ(油圧破砕機:1.5m <sup>3</sup> )  | ⑱ : タワークレーン(2t)                      | ㉗ : ホールクレーン(25t)               |
| ⑨ : バックホウ(油圧破砕機:0.38m <sup>3</sup> ) | ㉀ : ホールクレーン(25t)                     | ㉘ : ホールクレーン(25t)               |
| ⑩ : バックホウ(油圧破砕機:0.9m <sup>3</sup> )  | ㉁ : トラッククレーン(100t)                   |                                |



1:10,000

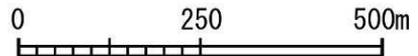


図 1-13(1) 建設機械位置図

b) 【後期第1期(前期)①②】

大気質調査期間中(平成30年2月8日(木)から2月15日(木))の建設機械の稼働状況は、表1-12(3)に、建設機械の稼働台数は、表1-12(4)に、建設機械の位置図は、図1-13(2)に示すとおりである。

【後期第1期(前期)①②】のうち、A、B、C及びF工区の4工区では、仕上内装工が実施されており、建設機械は稼働していなかった。D工区及びE工区では、躯体工事(型枠工、配筋工ほか)が行われており、そのうちD工区では2月9日にコンクリート打設が行われた。

近接する【後期第1期(後期)】では、ホイールクレーン等による資材の搬入(躯体工)のほか、コンクリート打設工が行われていた(I工区[2/8]、H工区[2/13]、G工区[2/14])。

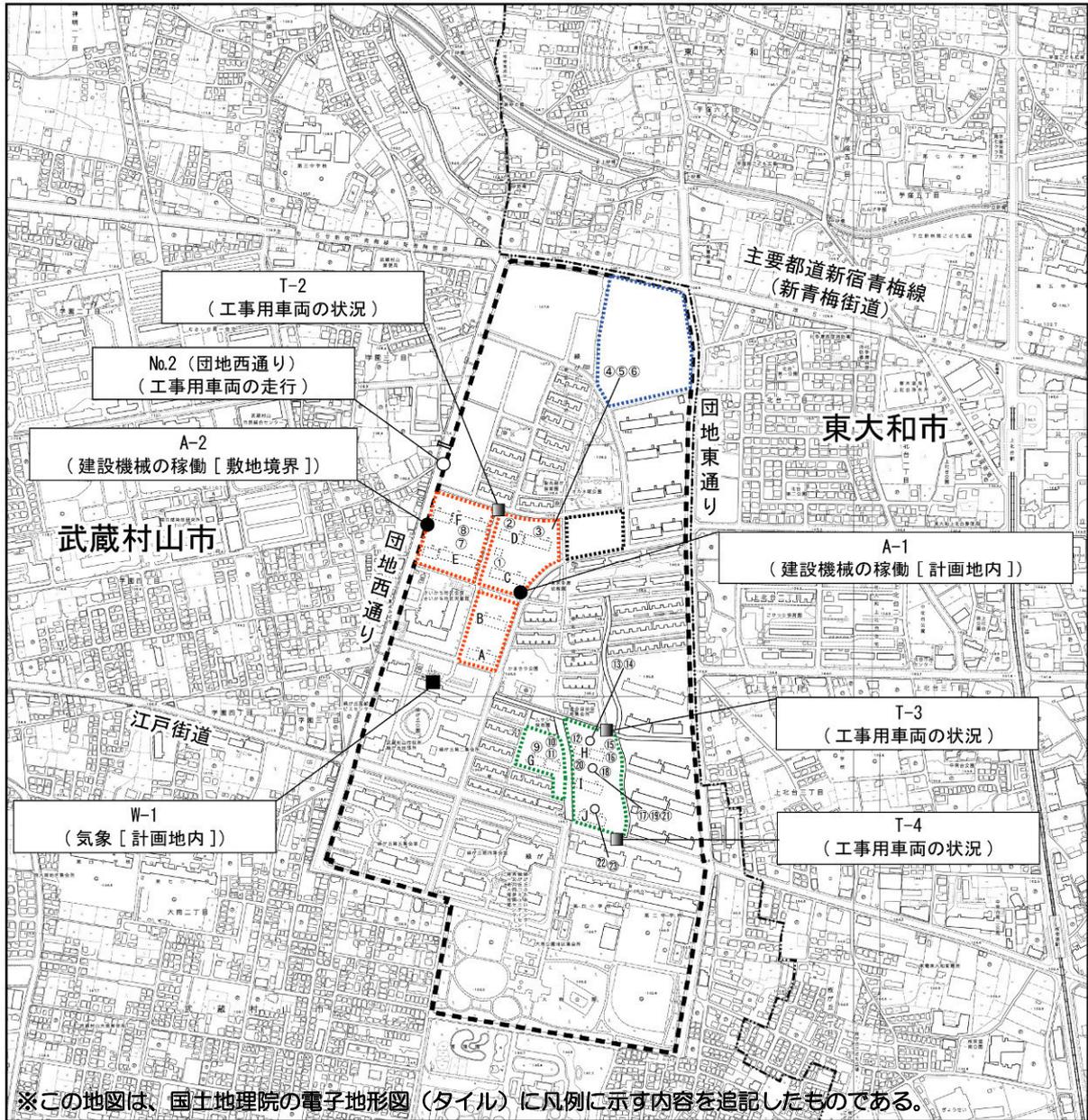
建設機械の稼働台数をみると、【後期第1期(前期)①②】及び近接する【後期第1期(後期)】の建設機械の稼働台数は、工程調整による平準化により、予測条件より少なかった。

表 1-12(3) 主な建設機械の稼働状況 (H30年2月\_第4四半期)

対象工期	工区	番号	名称	規格	登録メーカー名	型式	排ガス基準	8日 (木)	9日 (金)	10日 (土)	11日 (日)	12日 (月)	13日 (火)	14日 (水)	15日 (木)	
後期第1期 (前期)①②	C	①	ホイールクレーン	60t	隈タダノ	GR-600N-2	2006年基準適合								○	
		②	ホイールクレーン	35t	増加藤製作所	KRM-35H	第二次基準値	○						○		
		③	タワークレーン	2t	菅機械工業㈱	GTR331B	-	○		○				○		
	D	④	コンクリートポンプ車	158m <sup>3</sup> /h	株式会社東協	JX236-4.16HP	-		○							
		⑤	コンクリートミキサー車	10~11t	極東開発工業㈱ほか		-		○							
		⑥	コンクリートミキサー車	10~11t	極東開発工業㈱ほか		-		○							
	E	⑦	トラッククレーン	100t	隈タダノ	ATF-100G4-1	-	○	○	○				○		
	F	⑧	バックホウ	0.1m <sup>3</sup>	キャピラジャパン株式会社	030SR	2006年基準適合		○							
後期第1期 (後期)	G	⑨	コンクリートポンプ車	103m <sup>3</sup> /h	極東開発工業㈱	PY125-36A	-									○
		⑩	コンクリートミキサー車	10~11t	新明和工業㈱ほか	-	-									○
		⑪	コンクリートミキサー車	10~11t	新明和工業㈱ほか	-	-									○
	H	⑫	バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	コベルコ建機㈱	SK135SR-1ES	2006年基準適合	○	○	○						○
		⑬	バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	日立建機㈱	ZX135US-3	2011年基準	○	○							○
		⑭	コンクリートポンプ車	103m <sup>3</sup> /h	極東開発工業㈱	PY125-36A	-								○	
		⑮	コンクリートミキサー車	10~11t	新明和工業㈱ほか	-	-								○	
	I	⑯	コンクリートミキサー車	10~11t	新明和工業㈱ほか	-	-								○	
		⑰	コンクリートポンプ車	50m <sup>3</sup> /h	新明和工業㈱ほか	PH50-17 M357	-	○								
		⑱	コンクリートミキサー車	10~11t	新明和工業㈱ほか	-	-	○								
		⑲	ホイールクレーン	25t	増加藤製作所	KR-25H-V7	2006年基準適合			○					○	
	J	⑳	バックホウ	0.09m <sup>3</sup>	石川島建機㈱	30VZ	第二次基準値		○	○						
		㉑	バックホウ	0.5m <sup>3</sup>	コベルコ建機㈱	SK135SR-1ES	2006年基準適合								○	○
		㉒	ホイールクレーン	60t	隈タダノ	GR-600N-2	2006年基準適合		○							
㉓		ホイールクレーン	25t	隈タダノ	GR-250N-1	第二次基準値								○		

表 1-12 (4) 建設機械の稼働台数の比較【後期第1期(前期)①②】

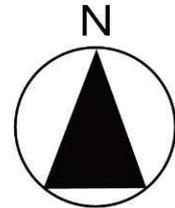
対象工期	予測条件			事後調査		
	工種	建設機械	台数	工種	建設機械	台数
後期第1期(前期)①②	躯体工事+仕上工事	クローラクレーン	10	躯体工事+仕上工事	ホイールクレーン	2
		コンクリートポンプ車	8		タワークレーン	1
					コンクリートポンプ車	1
					コンクリートミキサー車	2
					トラッククレーン	1
					バックホウ	1
後期第1期(後期)	躯体工事+仕上工事	クローラクレーン	3	躯体工事	ホイールクレーン	3
		コンクリートポンプ車	6		コンクリートポンプ車	3
					コンクリートミキサー車	5
					バックホウ	4



※この地図は、国土地理院の電子地形図(タイル)に凡例に示す内容を追記したものである。

### 凡例

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| ----- : 市境        | ■ : 工事車両出入り交通量       |
| ----- : 計画地       | ≡ : 工事車両交通量          |
| ■ : 風向風速調査地点      | ● : 大気質(建設機械稼働)調査地点  |
|                   | ○ : 大気質(工事用車両走行)調査地点 |
| ----- : 除却        | ----- : 後期第1期(前期)①②  |
| ----- : 後期第1期(後期) | ----- : 工事区域         |
- 
- |                         |                         |                   |
|-------------------------|-------------------------|-------------------|
| ① : ホイールクレーン(60t)       | ⑪ : コンクリートミキサー車(10~11t) | ⑳ : バックホウ(0.09m³) |
| ② : ホイールクレーン(35t)       | ⑫ : バックホウ(0.5m³)        | ㉑ : ホールクレーン(60t)  |
| ③ : タワークレーン(2t)         | ⑬ : バックホウ(0.5m³)        | ㉒ : ホールクレーン(25t)  |
| ④ : コンクリートポンプ車(158m³/h) | ⑭ : コンクリートポンプ車(103m³/h) |                   |
| ⑤ : コンクリートミキサー車(10~11t) | ⑮ : コンクリートミキサー車(10~11t) |                   |
| ⑥ : コンクリートミキサー車(10~11t) | ⑯ : コンクリートミキサー車(10~11t) |                   |
| ⑦ : トラッククレーン(100t)      | ⑰ : コンクリートポンプ車(50m³/h)  |                   |
| ⑧ : バックホウ(0.1m³)        | ⑱ : コンクリートミキサー車(10~11t) |                   |
| ⑨ : コンクリートポンプ車(103m³/h) | ㉓ : ホールクレーン(25t)        |                   |
| ⑩ : コンクリートミキサー車(10~11t) |                         |                   |



1:10,000

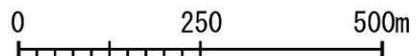


図 1-13(2) 建設機械位置図